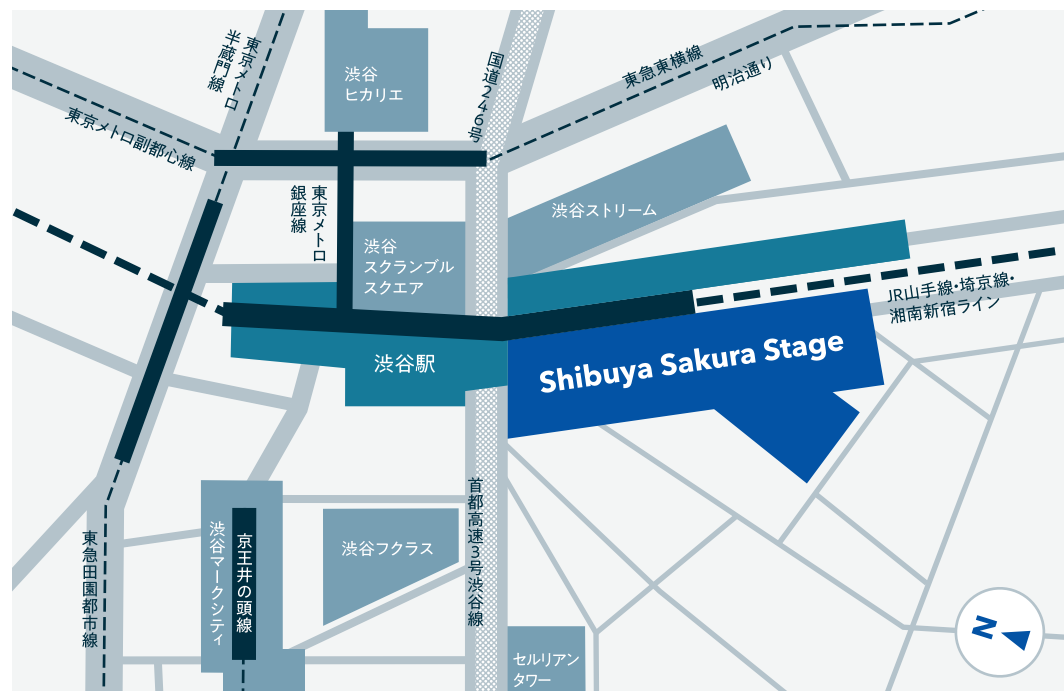


会場アクセス



Shibuya Sakura Stage 東京都渋谷区桜丘町1番1号ほかJR渋谷駅「新南口」出たすぐ右、徒歩1分圏内

BLOOM GATE ZONE A/B SHIBUYA SIDE 3階

manoma (11/8のみ) SHIBUYA SIDE 38階

<https://www.shibuya-sakura-stage.com/access/>



関連イベント

SIW共催

『CCBTx×SOCIAL INNOVATION WEEK2024』

ART FOR TRANSFORMATION プレトーク

食から未来を考える

会場／SUPER DOMMUNE (ライブストリーミング配信のみ)

渋谷を拠点に活動するプロデューサー、アーティスト等の登壇者が、「食」をテーマに未来と一緒に考えるトークイベントをDOMMUNEで配信します。

11月5日(火) 19:00～21:00

料金：無料

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人 渋谷未来デザイン

DOMMUNE 公式ホームページ

<https://www.dommune.com>
からご覧いただけます。



ゲスト

市原えつこ

アーティスト、妄想インベンター、
2024年度CCBTアーティスト・フェロー

柴田祐輔

アーティスト、
2024年度CCBTアーティスト・フェロー
「柴田祐輔+Token Art Center」より

長田新子

一般社団法人渋谷未来デザイン理事・事務局長/
SIWエグゼクティブプロデューサー

宇川直宏

現"在"美術家・DOMMUNE主宰、
CCBTアーティスト・フェロー審査員／メンター

齋藤精一

パノラマティクス 主宰

CCBTミートアップ

インクルーシブにつくる／ つかう道具とは？

～CCBT+東京藝術大学芸術情報センター(AMC)
「音楽デバイス開発プロジェクト」報告会～

会場／シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

CCBTは、東京藝術大学芸術情報センター(AMC)と、トーンチャイムという楽器を用いて、その響きを、光や映像として体験できるシステム「VisVib(ヴィズ・ヴィブ)」を協働開発しました。「VisVib」は、音楽ホールでのワークショップに導入することなどを目的とした、障害の有無に関係なく音楽を楽しみ、新しい音楽体験をつくり出すツールです。このシステムを、セットアップや使い方の動画等とともにオープンソースで公開したことにあわせ、開発経緯や使い方の説明、また「VisVib」を導入したワークショップの事例、このシステムの楽しみ方や展望を発表します。

11月10日(日) 14:00～16:30

入場無料／申込不要

情報保障支援：日本語対応手話—日本語 通訳付き

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

企画制作：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

公式ウェブサイト

<https://ccbt.rekibun.or.jp/>



CCBT **ARS ELECTRONICA**
Art, Technology & Society

ART FOR アートと未来。変容と創造。 TRANSFORMATION

2024.11.8 FRI
—11.10 SUN

Shibuya Sakura Stage

3階 BLOOM GATE ZONE A/B 38階 manoma(11/8のみ)

入場/参加：無料

主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 事業連携 アルスエレクトロニカ
後援 オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京、日本経済新聞社

公式ウェブサイト
<https://ccbt.jp/>



クリエイティブ×テクノロジーで東京をより良い都市^{まち}に変える Co-Creative Transformation of Tokyo

人の創造性から生み出されるアートには、人を、社会を、都市（まち）を、より良い方向に変える可能性があります。
「ART FOR TRANSFORMATION アートと未来。変容と創造。」は、その可能性を皆さんと一緒に考える3日間です。
渋谷を拠点として活動するシビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] と、オーストリアの文化機関アルスエレクトロニカの連携により、
アートとデジタルテクノロジーを通じた創造性から広がる可能性への入口を、渋谷の新たな玄関口にて展開します。

展示

CCBT活動紹介展示

会場／3階 BLOOM GATE ZONE B

クリエイティブ×テクノロジーが導く表現や考え方は、市民自らがつくりだす都市や社会システム、コミュニティ、そしてサステナビリティ（持続可能性）へのみちしるべとなります。私たちの生活や文化への新たな提案をもたらす活動として取り組んだCCBT開所からの約2年間を、パネルと映像でご紹介します。



Photo : Tada (YUKAI)

映像展示 from Ars Electronica Animation Festival 2023 on Tour

会場／3階 BLOOM GATE ZONE A

アルスエレクトロニカのプログラム
Ars Electronica Animation Festival 2023 on Tourから、複数の映像作品を会期中特別上映します。

※以下のワークショップ/
トーク開催時間を除き、
会期中連続上映いたします。

11月9日(土)
13:30～15:30／18:00～19:00
11月10日(日)
11:00～12:00／13:30～15:00



Photo : Delivery Dancer's Sphere; Credit : Ayoung Kim

トーク

XRとこれからのシビッククリエイティブ

会場／3階 BLOOM GATE ZONE A

アートとデジタルテクノロジーを活用して人々の創造性を社会に発揮すると、都市にどのような変化が起こる可能性があるのでしょうか。異なる分野や立場からアート／テクノロジー／クリエイティブが交差する現場で活動してきた3者が、XR（クロスリアリティ）と、これからの都市（まち）、そして市民の創造性について語り、一緒に考えます。

11月9日(土) 18:00～19:00 定員：着席40名

事前申込制
(先着順)

カンファレンス／ ネットワーキング

会場／38階 manoma

アートとデジタルテクノロジーを活用して社会にイノベーションを起こす可能性を参加者と一緒に、学び、考え、つながるプログラムです。ビジネスパーソン、アーティスト、クリエイター等、イノベーションを目指す幅広い皆さまのご参加をお待ちしています。

11月8日(金) 13:00～18:00

定員：70名
※13:00-18:00 一括でのお申込みとなります。

事前申込制
(先着順)

13:00-

①基調講演

“Art for Innovation”の最前線

登壇者



杉山 央
新領域株式会社
ART+TECH
プロデューサー



小川 秀明
CCBT
クリエイティブ・
ディレクター
アルスエレクトロニカ・
フューチャラボ
共同代表

14:00-

②事例紹介／セッション1

東京 (CCBTから広がる社会実装) の事例

登壇者



橋本敦子
センサリールーム
プロデューサー、
SnoozeLab.
代表理事、
2023年度 CCBT
アーティスト・フェロー



丹羽 菜生
中央大学
研究開発機構
准教授

モデレーター



生田 綾
メディア
「CINRA」編集長

ワークショップ

メモリー・ボリューム- リアリティ・キャプチャー・ワークショップ

会場／3階 BLOOM GATE ZONE A

リアリティ・キャプチャーとは、私たちの身の回りにある立体物をスキャンし、その場所や物体をデジタル空間に再構築するプロセスです。渋谷の街と一緒に歩き、遊びながら新しいテクノロジーを体験し、創造的なアイデアや考え、思い出を共有するワークショップです。

※このワークショップでは、iPhoneと専用のアプリ (Scaniverse) を使ってスキャンを行います。貸出用のiPhoneをご用意しておりますが、お手持ちのiPhone使用をご希望の場合は、事前にアプリ (Scaniverse) のインストールをお願いいたします (iPhone11以上推奨)。

①11月9日(土) 13:30～15:30

対象：誰でも参加可能 (中学生以上推奨)
定員：16名

②11月10日(日) 13:30～15:00

対象：小中学生 (ご家族等グループで参加可能／
小学生は必ず保護者の方と一緒にご参加ください)
定員：8組程度

ファシリテーター



デニス・ヒルテンフェルダー
アルスエレクトロニカ・
フューチャラボ
リサーチラー



久納 鏡子
アルスエレクトロニカ・
アンバサダー



ヨハネス・ボール
アルスエレクトロニカ・
フューチャラボ
リードデザイナー



今野 恵菜
プログラム /
エクスペリエンス
デザイナー

ウェルカム・トゥ・プラネットB- キッズ・ワークショップ

会場／3階 BLOOM GATE ZONE A

「食」「住」「移動」の3つをテーマに、アニメーションの物語と一緒に作ります。体験した物語から発想を膨らませて、自分自身にとっての未来の地球 (プラネットB) をスケッチし共有します。持続可能な未来を思い描く想像力/創造力を発揮しながら、それぞれの考え方の違いとその発想の豊かさを感じることでできるワークショップです。

11月10日(日) 11:00～12:00

対象：7-10歳程度 (要保護者同伴／保護者の方は見学) 定員：25名

事前申込制
(先着順)



Photo : Ars Electronica - Robert Bauernhansl

ファシリテーター

デニス・ヒルテンフェルダー (アルスエレクトロニカ・フューチャラボ リサーチラー)
久納 鏡子 (アルスエレクトロニカ・アンバサダー)
今野 恵菜 (プログラム / エクスペリエンスデザイナー)

事前申込制
プログラムの
お申込みはこちら



14:30-

②事例紹介／セッション2

アルスエレクトロニカの事例

登壇者



井出 信孝
株式会社ワコム
代表取締役兼CEO、
一般社団法人
コネクテッド・インク・
ビレッジ 代表理事、
S+T+ARTS2020審査員



福原 志保
アーティスト、研究者、
S+T+ARTS2019 受賞、
2024年度 CCBT
アーティスト・フェロー

モデレーター



久納 鏡子
アルスエレクトロニカ・
アンバサダー

15:00-

②事例紹介／セッション3

アート×
ソーシャルビジネスの事例

登壇者



徳井 直生
株式会社
Qosmo/Neutone 代表、
アーティスト

モデレーター

生田 綾 メディア「CINRA」編集長

15:30-

②事例紹介／セッション4

アート×企業の事例

登壇者



林 亜季
株式会社ブランド
ジャーナリズム
代表取締役、
Ambitions 編集長

モデレーター

生田 綾 メディア「CINRA」編集長

16:10- ③ オープンディスカッション

17:00- ④ ネットワーキング